



地域を盛り上げる

大木夏祭り 2011

地域の人と親睦を図ってもらおうと『第14回大木夏祭り2011』が7月30日に行われました。今年は、「祈願 東日本大災害復興 被災地へ元気を！」をかね、東北に元気、熱気が届くようにと夏まつりを計画。会場となった山武西小学校の校庭には約600人以上の市民が集まりました。

子どもみこしや盆踊り、打ち上げ花火などが行われました。また、地元の山武西小・南中学校の吹奏楽部、山武の森コカリナ隊の演奏や女性和太鼓初音による和太鼓の実演などがあり、夏の夜を市民は満喫していました。



▲みんなで踊りましょう

成東駅前に活力を

第2回成東駅前イベント



▲特産品が店頭にならびます



『私たちの町の宝探し—みんなでつくる、駅前活性化へのチャレンジ—』のテーマで、8月6日、7日と第2回成東駅前イベントが開催されました。

「市民の力で、一緒に手を組み、山武市の顔である成東駅、活力を取り戻すために頑張りましょう」と椎名市長からあいさつがありました。

駅前には、寂れて元気がない。この現状を打破しようと結成された「成東駅前あじょすっ会」が主催で行われたイベント。市内の特産品の販売やカフェ、飲食スペースなど、また、のぎくプラザ吹奏楽団の演奏やなるなみコーラスによるコーラス、盆踊りなどが行われイベントを盛り上げていました。

金刀比羅神社

神楽を奉納～琴平神楽保存会



8月7日、金刀比羅神社鎮風祭で、琴平神楽保存会による神楽の奉納が行われました。

この神楽は、寛文5年(1665)の本殿が再建されたのを記念して神楽が奉納されたと伝えられています。十二舞六曲からなり、農作業の安全と五穀豊穡を、また氏子の安全を祈願して、二百十日の鎮風祭に当たる9月1日に行われていましたが、現在は8月の第1日曜日に固定して、毎年奉納神楽が行われています。

末広神社

神楽を奉納～松尾神社保存会

7月23日に末広神社で、神楽の奉納が松尾神楽保存会によって行われました。神楽は11講座があり、明治14年7月に初めて神楽が奉納されました。

この末広神社が初めて祀られたのは、寛政元年にさかのぼります。掛川藩太田資愛が末広(扇)を下賜され、これを石櫃に納めて建立したのが創祀とされます。

大政奉還により掛川藩の太田氏は明治元年に松尾地区に移封され、田越に鎮守として神社を移し、昭和8年に境内が狭いため現在の地に遷宮したものです。

